

第3章 交通環境調査結果

自動車からは、一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、粒子状物質(ディーゼル黒煙)等の大気汚染物質が排出されるが、県下でも、交通量が年々増加してきており、幹線道路の沿線地域等では、自動車排出ガスによる大気汚染が懸念される。

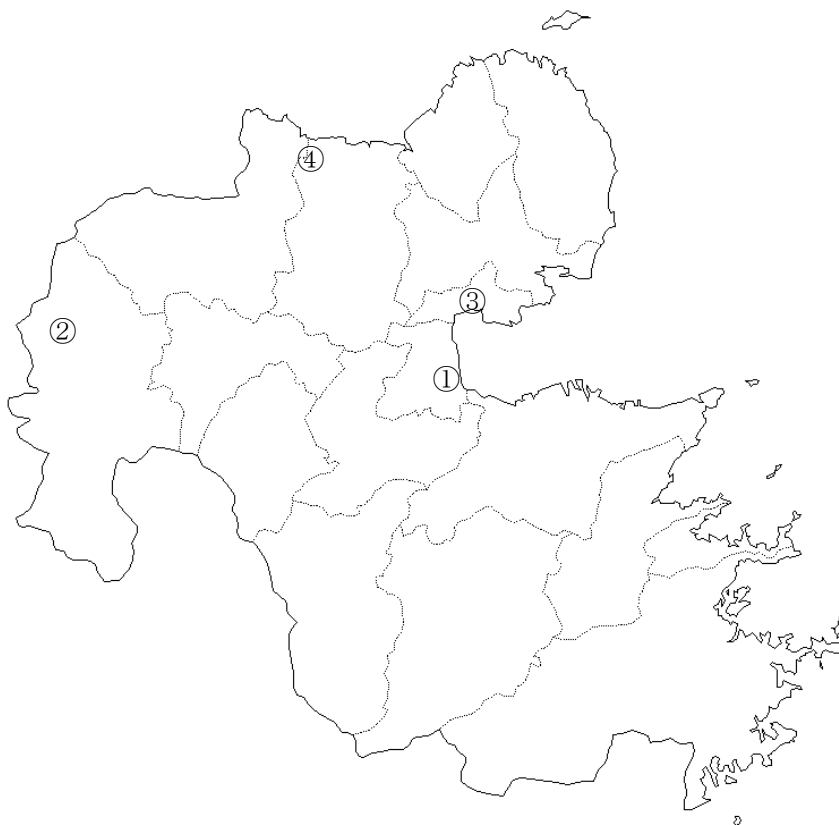
このため、大気環境監視の一環として、県下の主要交差点において、大気汚染移動測定車により自動車排出ガスの汚染状況調査を行っている。

〈調査地点・期間〉

調査地点：別府市、日田市、日出町、宇佐市の計4地点

調査期間：令和3年10月～11月

※各地点とも、連続する7日間について調査を行っている。



	調査地点名	調査期間
①	新宮通り入口交差点(別府市)	令和3年10月12日～10月18日
②	元町交差点(日田市)	令和3年10月22日～10月28日
③	堀交差点(日出町)	令和3年11月12日～11月18日
④	笠松交差点(宇佐市)	令和3年11月3日～11月9日

〈調査結果〉

測定結果について、表3-1に示す。

二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質濃度のいずれにおいても環境基準の超過はなかった。

表3-1 測定結果

調査地点	調査期間	一酸化炭素			一酸化窒素		二酸化窒素		二酸化硫黄		浮遊粒子状物質		風向	風速	
		日平均値	8時間値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	1時間値	日平均値	1時間値
		最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最頻風向	最高値	最高値
		最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	その割合	最低値	最低値
		平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	CALM割合	平均値	平均値	
		ppm			ppb		ppb		ppb		$\mu\text{g}/\text{m}^3$		%	m/s	
新宮通り入口 交差点 (別府市)	10月12日	**	**	**	7	41	15	35	3	10	21	49	S	2.5	5.3
	～	**	**	**	1	0	5	1	1	0	8	0	24	0.7	0.1
	10月18日	**	**	**	5	5	12	12	2	2	14	14	12	1.2	1.2
元町交差点 (日田市)	10月22日	**	**	**	8	34	13	24	2	5	25	39	WNW	1.1	2.7
	～	**	**	**	2	0	6	3	0	0	7	0	10	0.7	0.1
	10月28日	**	**	**	5	5	9	9	1	1	13	13	33	0.8	0.8
笠松交差点 (宇佐市)	11月3日	**	**	**	8	23	13	40	3	6	24	39	SSE	2.2	5.1
	～	**	**	**	2	0	6	2	1	1	7	0	19	1.0	0.2
	11月9日	**	**	**	5	5	10	10	2	2	15	15	3	1.8	1.7
堀交差点 (日出町)	11月12日	**	**	**	18	86	31	60	3	4	31	49	WNW	1.3	2.7
	～	**	**	**	5	1	13	4	1	1	7	0	11	0.7	0.1
	11月18日	**	**	**	14	14	22	22	2	2	18	18	18	1.0	1.0
環境基準 (参考)		1時間値の1日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、 1時間値の8時間平均値が 20ppm 以下 **：欠測			—	1時間値の1日平均 値が40ppbから 60ppbまでのノー ン内又はそれ以下		1時間値の1日平均 値が40ppb以下で あり、かつ、1時 間値が100ppb以下		1時間値の1日平均 値が100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以 下であり、かつ、 1時間値が200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下		—	—		
測定方法		非分散型赤外分析法			オゾンを用いる化学発光法				紫外線蛍光法		ベータ線吸収法		風向・風速計		